

## 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：2

<b>企画名</b>
おもしろラボ家具製作ワークショップ
<b>実施日</b>
平成 27 年 11 月 16 日 (月) ～ 平成 27 年 12 月 31 日 (木)
<b>実施場所</b>
C1 棟 111 室・112 室 おもしろラボ
<b>企画代表者の氏名, 所属</b>
氏名：高橋啓悟 所属：大学院工学研究科建築学専攻
<b>構成員の氏名</b>
長廻拓史 山本健太郎 原田慎平 徳本昌弘 津田康平
<b>指導的立場の教員氏名</b>
石垣文 (建築計画学研究室)
<b>企画の目的及び内容</b>
11 月に竣工する弾力的活用スペース「おもしろラボ」の家具作り及びワークショップを通して、「おもしろラボ」の認知度を高め、また学生自ら部屋を作り上げていくことで、学生が主体的に活用していく場であることを認識してもらうことができる。  作業台に関しては、長さ 1800mm×奥行き 900mm×高さ 700mm のものを 2 台作る。
<b>来場者数</b>
3 人
<b>主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模)</b>
C1 棟活用プロジェクトチーム
<b>活動の内容 (準備, 広報活動, 当日の様子等)</b>
C1 棟の内部で使用する予定の作業台を 2 台作成する為に、まず丸ノコやインパクトドライバなどの電動工具の使用に際して、怪我をしないように取り扱いに注意しました。また、ワークショップということで、工具の扱い方がわからない人にも説明できるように構成員は指導を行いました。作成したものは製作過程の中で少なからず変更を加えましたが、のちに使用していくことを考えて構造的にも耐久性のあるもの、見た目にも美しいものを完成させることができましたと思います。 家具製作は C1 棟内部で行っており、廊下側からは通行人が多く通りかかり、何をしているのかと気にしている人が多かったにも関わらず、参加人数が 3 人であったのもう少し広報活動をしっかりとするべきであったと反省しています。

(裏面に続く)

# 「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

## アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

## 成果・課題

完成したものはパイン集成材の板が口の字型になっており、長辺方向に対する揺れを防止する為にワイヤーを筋交いとして使用するものを考えました。また、板が直行に交わる場所は蝶番などの金具を用いずにワイヤーで縫うことによって作業台としての形を保持していることをコンセプトとしています。また、作業台天板は長さ 2000mm あるので、たわみを防止する為に垂直に材を配置し、構造的にも意匠的にも考えたものができると思います。

課題としては、参加人数を増やす為に広報活動を積極的に行うべきだった点です。C1 棟の内部空間には、完成予想図に至るまでにパーティションやひな壇などが残っていますが、内壁や外壁、デッキ部分が完成し、この場所を多くの学生や教職員に伝えることができるいい機会であったにも関わらず、うまく告知できなかったことが課題として残りましたが、C1 棟の facebook の開設により、今までに行ってきた活動やこれからの活動を伝えることができると思うので、うまく活用できればと思います。

## 実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。

E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)